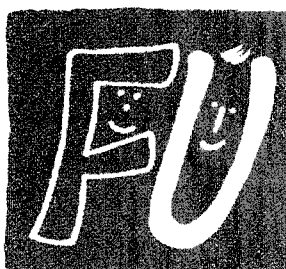


社会福祉法人ふたかみ福祉会

—かがやく命を大切にする社会をつくります—

2019(h31,r1)年度事業報告

2020/6/19評議員会



法人事務局	1
はびきの園	2
ハピパール	4
ほまれっこ	7
はばたき	8
ほまれの里	10
支援センターはる	11
第3者委員会報告	15



2019(h31,r1)年度事業報告

1 経営・管理事業報告(開催日)

2020/3/31 現在

	理事会	評議員会	管理者会議	管理者主任会議	法人職員会議
4月		15	2.9.16	23	13
5月	25		7.14.21	28	
6月	18	18	4.11.18	25	
7月	23		2.9.16.30	23	
8月			7.19	27	
9月			3.13.18	24	
10月			1.8.15.	29	19
11月			5.12.	27	
12月	4		3.10.17	24	
1月			14.21	28	
2月			4.18	25	
3月	17		3.10.17.31	24	

上記会議 理事長・常務理事出席

○各事業所での主な会議

主任会議 法人事務局会議 実践責任者会議 職員会議 班会議

○評議員選任及び解任委員会

2019/4/19

2 危機管理委員会 第4四半期 第1四半期 第2四半期 第3四半期 第4四半期

第3者委員会	6/14	7/19	10/28	1/27	
--------	------	------	-------	------	--

3 研修

内部研修 研修委員会を中心に

法人間連携研修(府社協アウトリーチ助|ピョピヨ福祉会(松原市)と

社会福祉講座	7/6. 10/6/11/16. 2/13
実践交流研修	2/22(土)公開講座

4 人事

正規職員		正規外職員		無期転換	
採用	退職	採用	退職	転換	退職
4	3	4	5	1	0

育休	
----	--

5 事務局

正規	正規外	非常勤
1	2	3

1) 主な業務

法人運営

理事会、評議員会、管理者会議(月1回)と管理者主任会議の出席に出席。議事録の記録と作成、書類

人事業務

各種必要書類(特に雇用契約書)把握、管理
採用筆記試験の実施

給料業務

勤務シフト様式記入方法改定。

経理業務

勤怠管理システム導入に向けたIT導入補助金の申請

請求業務

報酬改定対応。各事業所経営分析を行い、増減状況報告

その他

一括請求。ソフトの入れ替えを行った。
事務局員向け内部研修・危機管理、外部連携、その他

※吉川(吉川徹)社労士事務所委託

6 法人監査および実地指導

法人監査(羽曳野市) 2019(r1)10月24日

- ・新役員選任評議員会と理事長専任理事会は同日開催可能
- ・役員及び評議員報酬規程の改訂について評議員会で決議されていない。
- ・第3者評価の実施の要請。WAMNETの更新

実地指導(大阪府)放課後等ディサービスほまれっこ

2019(r1)11月20日

2019 (h31, r1) 年度事業報告

2020/3/31現在

事業所名	指定事業名	定員	現員	事業有効期間
はびきの園	生活介護Ⅰ	30	33	h31/4/1-h37/3/31
	生活介護Ⅱ	7	9	h31/4/1-h37/3/31
	就労継続支援B型	10	10	h31/4/1-h37/3/31
	就労移行	6	3	h31/4/1-h37/3/31

職員配置数

事業内容	配置基準	批'管	主任	支援員 (加算)	支援員	保育士	看護師	調理員	運転手	計
生活介護Ⅰ	12	1	1		12		1	2.5	4	21.5
生活介護Ⅱ	3.6	1	1		3.6		1			6.6
就労継続支援B型	2.1	1	1		2.1					4.1
就労移行	2.1	1	1		3					5

利用者数(年齢)

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	65歳以上	計
男	1	10	11	9	1	1	1	34
女		4	7	7	2	0	1	21

利用者(支援区分)

事業内容	非該当	1	2	3	4	5	6	計	平均
生活介護Ⅰ				1	6	14	12	33	5.1
生活介護Ⅱ							9	9	6
就労継続支援B	3			5	1	1		10	2.4
就労移行	3							3	0

利用率 当月延べ利用者数/(当月-8日)*定員 (%)

事業所名	はびきの園	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	利用率
生活介護Ⅰ		92%	92%	94%	99%	97%	99%	95%	98%	98%	92%	97%	101%	96%
生活介護Ⅱ		65%	69%	74%	72%	73%	71%	78%	72%	64%	64%	70%	74%	71%
就労継続支援B型		87%	76%	80%	86%	81%	86%	86%	94%	95%	81%	94%	86%	86%
就労移行支援		14%	14%	15%	17%	28%	35%	36%	29%	33%	32%	37%	47%	28%
開所日数		22	23	22	23	21	20	22	22	22	22	20	23	21.8

利用者工賃(就労継続紫煙B型)(円)

最高額/月	31,225	最低額/月	1400	平均工賃/月	15686.9
-------	--------	-------	------	--------	---------

【事業所の特徴】

生活介護Ⅱを広げる計画の進展はありませんでした。高齢の利用者の受け止めを計画していましたが現在通所されている方は対象になっていません。今後も利用率を上げ、事業拡大を目指していきます。高齢期支援の受け皿は作り、予定通り進める事が出来ています。今後は特化した支援に変えていく予定をしていますが、現段階ではニーズに合った支援ができていると考えています。今後は他法人・他事業所の取り組みを参考にしていく予定です。

就労支援B型事業は当初の予定を順調に進める事が出来ていると判断しています。工賃保障がしっかりとできるように仕事の内容を精査しています。基本的には収入を上げる方法を検討しています。

就労移行支援事業は定員を割っていますが、就業支援センターと連携をして徐々に利用者を増やすことができています。

【事業所運営に関わって】

- ・感染症が大きく広がる事もなく、安定して開所する事が出来ました。
- ・外部研修は例年と比較して少なかったですが、法人研修で多くの職員が参加出来ました。パート職員の研修保証が課題です。
- ・会議は段階別にしっかりと持つことができています。
- ・利用率を高めるため、休日開所の内容を工夫しています。また、区分に合った契約の変更を1名行いました。後期で3名増、1名退所しています。
- ・水光熱費が下がる工夫で、業者の変更を行いました。
- ・園だよりに加え、SNSで取り組みなどを中心に情報発信を行いました。
- ・地域の取り組み(校区福祉委員会・夏祭り)に参加しています。理解者を増やす取り組みとして見学、実習、ボランティアの受け入れを積極的に行いました。
- ・きょうされん運動を中心に様々な方と協力しながら運動へとつなげています。駒ヶ谷小学校の先生の見学から来年度は児童との交流につなげる予定です。

【利用者支援に関して】

- ・制度に則った形での書類作成を意識して日々の支援を行っています。
- ・高齢期対応の実践は、所属班に席を置きながら週に一回3名の利用者に集まってもらい行っています。
- ・各班では利用者の状況にあったないよう進めていますが、利用者にとって「わかりやすい」を意識した物の配置やチャレンジできる場面を作りました。世界遺産にちなんだ新商品や、絵画ではコンクールや雑誌の表紙に選ばれるなどがありました。評価を受けた事は全大会で利用者に紹介しています。各班単位で自由な取り組みも行っています。
- ・技術指導で製菓に集中的に関わってもらいました。技術を持った職員が退職したので、改めて教えてもらい、マニュアル化しました。
- ・工賃保障がしっかりとできるように、見直しを行いました。B型の型はある程度高い工賃の支払いができるようにしています。今は収入が課題で、収支のバランスがうまくいくように、今期は支出を徹底して減らしています。また、収入が上げる為の新商品の開発も行いました(フルール・古墳クッキー・スカーフなど)
- ・利用者が主体的生活に関わる事が出来るように様々な取り組みを行いました。その中で旅行は3グループに分かれていく予定にしていたましたが、コロナウィルスの影響で2グループは中止となりました。

2019 (h31, r1) 年度事業報告

2020/3/31現在

事業所名	指定事業名	定員	現員	事業有効期間
ハピパール	生活介護	10	10	2017/4/1～2023/3/31
	就労継続支援B型	10	3	2018/4/1～2024/3/31

職員配置数

事業内容	配置基準	比'管	主任	支援員 (加算)	支援員	保育士	看護師	調理員	運転手	計
生活介護		1								
就労継続支援B型		1								

利用者数(年齢)

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	65歳以上	計
男	1		3	2		2		8
女		1	2	2				5

利用者(支援区分)

事業内容	非該当	1	2	3	4	5	6	計	平均
生活介護I				1	3	5	1	10	4.6
就労継続支援B				1	2			3	3.6

利用率 当月延べ利用者数/(当月-8日)*定員 (%)

事業所名	ハピパール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	利用率
生活介護		103	104	98	93	93	95	96	93	95	93	87	91	95
就労継続支援B型		9	9	10	10	17	27	25	17	12	10	10	16	14.4
開所日数		22	23	22	24	23	22	22	22	23	23	21	24	

利用者工賃(就労継続支援B型)(円)

最高額/月	7400	最低額/月	400	平均工賃/月	3750
-------	------	-------	-----	--------	------

【事業所の特徴】

三年目を迎えた4月、人事異動があり新しい職員体制、B型利用者1名入所と、大きな変化とともに今年度が始まりました。

6月には1名の退所(はびきの園へ異動)がありました。4月より数名の見学、体験の受け入れを行い、その結果7月から1名、9月から2名計3名の利用に繋がりましたが、10月11月1月と退所が続き、結果的には現在昨年度末と同様の12名になっています。

支援学校からの実習受け入れを行い、支援学校での事業所説明会への参加や近隣行政・支援機関へ出向きパンフレットをおいてもらうなどの活動も行いました。急な見学にもその都度柔軟に対応をおこなっています。

まだまだ定員を満たしておらず、引き続き利用者確保へ向けた活動を行います。

【事業所運営に関わって】

- ・利用者増に伴い送迎体制の変化に伴い、土曜開所時間を16時までに変更しました。

- ・仲間工賃について、来年度をめどに改定を検討しています。

- ・絵画販売の際の還元率についても変更を検討しています。

- ・10月からの消費増税に伴い価格改訂をおこないました。

- ・月に1回職員会議、カフェ、ワークスの各部門会議も月に2回行い、情報共有や検討をおこなっています。

- ・配管の詰まりでカフェ営業を2日間休むことになりました。清掃方法を見直し、そのほかの設備についても清掃方法や時期の検討を行いました。

【地域とのつながり】

- ・西浦小学校のイベントに参加しました。後期ではハピバールの仕事体験に来所してもらいました。
- ・西浦幼稚園と3回の交流会を行いました。卒業制作のお皿づくり、保護者のかたから記念品作成依頼もいただきました。
- ・府大交流会に参加し、収穫体験や寄せ植えなどを行いました。
- ・はぴこの会や歌声喫茶に定期的に利用していただいています。
- ・ネットワークみやびに参加しており、区長さんや民生委員などに会議で近況を報告しています。11月には見学に来ていただき食事をされました。
- ・他の事業所の仲間が食事に来てくださることもあり、仲間たちとの交流にもなっています。
- ・ボランティアの方に来ていただいています。仲間と一緒に作業や取り組みを行っていただき、仲間も来られるのを楽しみにしています。
- ・まちまるしえやふれあいひろばなど定期的で開催されているイベントにも毎回参加させていただき、楽しみにしてくれているお客様もいます。今後は仲間も販売に参加できるようにしていきたいと思えます。
- ・きょうされんの全国大会やヒューマンウェブ、がんばるデーなどに参加し、障害のある人たちの権利や制度を守る運動を当事者として行っています。

・その他イベント一覧

4月7日まちまるしえ 4月14日フリマ→雨天予報で中止

5月5日古墳まつり 5月12日～18日古墳まつり@塚高島屋 5月26日二周年感謝祭 7月28日フリマ&夜カフェ

10月19日夢工房くるみ秋祭り 10月27日まちまるしえ 11月23日まちまるしえ 12月8日ふれあいひろば

1月5日もちつき大会 3月29日ハピバールフリマ→コロナウイルスで中止

【利用者支援に関して】

<カフェ>

- ・メニューの改定をおこない、商品ロスが少なくてすむようにしました。根本的には、集客が問題でもあるため、地域へのピラの配布、SNSへの定期的な投稿など宣伝活動にも力を入れています。
- ・物販は引き続き陶器、布商品、ドリップパックを販売しています。委託では「はびきの園」「聖徳園」のほか羽曳野市内の作業所利用者の製品も取り扱うようになりました。
- ・布商品はワークスで布に直接絵を描いたものを縫製して販売を考えています。また、Tシャツの販売ができないかと、制作方法などを模索中です。
- ・B型利用者が増えカフェ作業を行う利用者も増えています。机拭きやトイレ掃除、洗い物、開店準備、仕込み(計量、炒め、マッシャーでの潰し、混ぜるなど)段階を踏んで行っています。
- ・接客は「オーダーシート」を作りました。あらかじめメニューが書いているのでチェックするだけでよく、職員も仲間も見ても把握しやすくなりました。今後の利用者増を見据えて、カフェでの仕事の整理、洗いだしも必要になっています。
- ・「いらっしやいませ」などの声はまだ出にくいので、練習が必要です。
- ・お客様の少ない時の仕事として、箸袋折り、紙袋折り、ハンコ押しなどを行いました。当初は難しかった作業も徐々にできるようになってきています。
- ・ワークスとのコラボとして、ウッドデッキにあるテーブルのクロスに絵を描いてもらいました。またカフェで使用する箸袋や袋も仲間のデザインで作っています。
- ・ケーキなどの仕入れができなくなった。ガスオーブンの故障などでメニューの変更をおこないました。
- ・枇杷や梅をいただき、それらを使用してドリンクメニューを増やしました。
- ・貸しきりで研修に利用していただき食事の提供も行いました。

<ワークス>

- ・マリモさんに来ていただく曜日を予め設定し(基本第3火曜日)、一度に2名ずつ新たな製作方法などを提案いただきました。そこから新商品の検討に入っています。
- ・ビッグアイ主催のaboutme～私を知って～に参加しました。展示会やセミナーの開催、冊子の作成もされました。4名が選出されました。
- ・堺プラザアートの審査員として仲間が1名選ばれました。
- ・ぶどう作業では、入荷量などを朝礼や終礼で伝えていくことで仲間のぶどう作業へのモチベーションも高くなっています。
- ・イチジク作業では、作業を行う人数も増え、作業ペースも早くなりましたが、その分ペースト作業の効率やスペースの問題が生まれてきたことで、後半は作業室で行うようになりました。
- ・古市古墳群が世界遺産に登録され、ハピバールでは、古墳商品の試作・販売を行いました。
- ・陶器の小物作りや紙の家に貼り絵をしたオブジェ、一筆箋、仲間の絵を箸袋にした割り箸セットを作るなどそれぞれの得意なことを生かした新しい商品ができてきています。
- ・個展では、あらかじめ展示する絵を本人と一緒に選出、さらに地域にピラを配り宣伝活動を行っています。自分の描いた絵が展示され、多くの人に見てもらえることで、今後の絵画活動のモチベーションにつながっています。
- ・きょうされんデザイングッズコンクールに応募し、1名が入賞、1名が入選しました。作業の励みになっています。

2019 (h31, r1) 年度事業報告

2020/3/31現在

事業所名	指定事業名	定員	契約者数	事業有効期間
ほまれっこ	放課後等デイサービス	10	16	2018.5.1～2024.4.30

職員配置数

事業内容	配置基準	児発管	主任	児童支援員(加算)	障害福祉サービス経験者	保育士	その他の従事者	調理員	運転手	計
放課後等デイサービス	2	1	1	1	1	1	1		2	9

契約者数(年齢)

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	計
男				1	1	2	1	2	3		1	2	13
女									2			1	3

利用率 当月延べ利用者数/(当月-8日)*定員 (%)

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	利用率
ほまれっこ	71	68	63	69	66	71	69	69	69	72	72	67	69
開所日数(提供日)	24	23	25	26	23	23	24	24	24	22	23	24	23.8

事業所の特徴

昨年度(2018年)報酬改定により報酬が引き下げられましたが、今年度は「区分1」になり利用実態に見合った報酬になりました。活動場所をはびきの園内に変更することで毎月の賃借料がなくなり支出の減少が図れました。さらに、スタッフの働きかけで週1回利用されていた方が週2回～3回に増えるなどわずかですが利用数が増えています。只、新たな契約者を獲得出来なかったことは大きく一日の定員(10名)を割り込む日が増えるなど利用率の減少は大きく収入面は厳しい状態が続いています。家族懇談会などで利用状況を訴えることで少しでも利用率を増やすようにしていますが成果が出ていない状況です。

【事業所運営に関わって】

- ・新型コロナウイルスに対して政府から支援学校の休校要請を受けほまれっこを利用する子ども達の学校も3月2日から休校になりました。子ども達の精神面の安定や生活リズムの保障、家族の就労保障等を検討し利用希望のある方は3月2日から一日開所を行なったことは家族からも一定の評価を受けました。
- ・放課後ネットワーク、羽曳野市内のネットワークに参加し情報交流やイベントなどのつながりを持ちました。
- ・法人内研修には参加し、全職員での共有はできましたが、外部研修には参加できませんでした。
- ・家族懇談会を2ヶ月に1回開催し、情勢の報告や家族の困りごとなどを話し合いました。後半は子どもたちと一緒に活動のスライドを見て、取り組んだことを楽しく振り返りました。

【利用者支援に関して】

○活動場所

すばるホール、マクドナルド、石川河川公園 美原歴史資料館 石川プラザ リックはびきの 峰塚公園 シュラホール ふたかみパーク 狭山池博物館 ハピパール 農林センター 杜本神社 錦織公園 石川プラザ ハーベストの丘 アクアセンター しらとりの郷 万葉ホール 玉手山公園 大黒神社 大寅蒲鉾柏原工場 ミスタードーナツ……

- ・駒ヶ谷に移ってきたことで、自然豊かな地の利を活かして、散歩や公園などに行く機会も増えました。長距離を歩くことも増え体力がつけました。
- ・調理活動や買い物などを行うことによって経験の幅が広がっています。
- ・ゲームや競い合う遊びなどではお互いを意識したり、認め合ったりする姿も見られました。
- ・小学部高学年から高等部の子どもたちのため、体や心の変化が大きく、子どもの成長に寄り添いながら支援していますが、思春期の課題は難しい面があります。

2019 (h31, r1) 年度事業報告

2020/3/31現在

事業所名	指定事業名	定員	現員	事業有効期間
はばたき	共同生活援助	23	23	2018/10/1-2024/9/30

職員配置数

事業内容	配置基準	批'管	主任	支援員 (加算)	支援員	保育士	看護師	調理員	運転手	計
共同生活援助			1		3					4

利用者数(年齢)

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	65歳以上	計
男			4	12	1			17
女			1	4			1	6

事業内容	非該当	1	2	3	4	5	6	計	平均 区分	平均 年齢	定員	建物
はばたき		1	1			2		4			4	府営住宅
第2はばたき					1	3	3	7			7	法人所有
第3はばたき					2	2	2	6			6	法人所有
あさがお						5	1	6			6	法人所有
計		1	1		3	12	6	23			23	

【事業所運営に関わって】

昨年度末に運営規定を変更し、はばたきの1室で体験入居をできるようにしました。3名の利用者が体験入居を利用し、そのうち1名が9月1日から、本入居となり、現在は定員通りの23名での暮らしとなりました。

方針で掲げていた、障害者権利条約の再読み合わせは、会議日数を保障することが難しくできませんでした。

暮らしを守るということは、一人一人の生活歴や個性を尊重し、人生のあらゆる局面に寄り添うという「多様性」と「個別性」が求められます。そのためには、「労働」や「日中活動」とは異なる専門性が求められることから、学習の機会を保障できるように2020年度もしていきます。

会議等では文献などを読み合わせして、障害のある人の支援の基本的な考え方を共有してきました。また、虐待チェック表を記入し、自分の支援や職場の雰囲気を見直す機会をつくり、支援の質を向上する努力をおこなってきました。

会議等でも仲間のモニタリングをおこない、様々な仲間の顔・様子を職員間で共有してきました。

【利用者支援に関して】

①基本的な生活(食事・排泄・健康)

朝の検温をおこない健康面をみるバロメーターにしています。(冬場は帰宅後の検温も実施)
排便については、便秘ではないか、何日出ていないか…など本人の申告だけでは把握しづらい面がありますが、そういったところにも目を向けながら、健康的な暮らしの支援に今後も努めていきたいと思えます。

②日中活動の充実

連絡帳を通しての情報共有だけではなく、電話等で日中事業所との連携回数は多くなりました。昨年度から使用している「情報共有シート」を使いながら、ケガの場所などの情報を共有することができていますが、シートの記入は引き継いだ常勤職員が記入しているが、泊まった職員が記入し、より正確性に、職員の記述方法や考察をする力をつけることができるようにしていくことも検討する必要があります。

③ホームでの暮らし

昨年度の経験から有事の際のために緊急シートを作成し、各ホームにて保管しています。
ふたかみ福祉会のグループホームは、立ち上げ当初から「ホッとできる場」を目指して運営してきました。夜の支援という、1番リラックスが必要な時間帯で、プライバシーや、健康、食事などの配慮をどうしたらよいか、職員の「価値観」を押し付けるのではなく「自分の暮らしだったらどうなのか？」という視点や「ゆたかな暮らしとは何か」という視点をもつことができるように、キーパー会議などで、情報の共有などをしながら、法人の理念にそった支援となるように努めています。

④集団での暮らし

「個人」を尊重した生活を送ることはもちろんですが、「ひとり暮らし」ではない「仲間との暮らし」を楽しめるようにしていけたらと思えます。一緒に暮らす仲間が何らかの理由でいないと「どうしているかなあ」と心配するなど、意識をシェア姿が見られています。

⑤地域生活

はばたきは自治会にも加入し、会議・夜警に参加しています。
重度の仲間が多く、完全送迎の仲間も多いので地域社会とのかかわりはあまりない方も多いですが、地域社会の中で、自分の「やりたい」思いを大切に過ごすことができるようなホームであることを大事

2019 (h31, r1) 年度事業報告

2020/3/31現在

事業所名	指定事業名	定員	現員	事業有効期間
ほまれの里	短期入所	5		h26/10/1-h32/9/30

職員配置数

事業内容	配置基準	比'管	主任	支援員 (加算)	支援員	保育士	看護師	調理員	運転手	計
短期入所	5:01				7					7
										0

登録者数(年齢)

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	65歳以上	計
男	6	9	6	3	0	1		25
女	3	1	7	4	3	0		18

登録者数(支援区分)

	1	2	3	4	5	6	計	平均
成人(18歳以上)			4	9	8	15	36	4.9
児童	1	6					7	1.8

※児童区分は1～3まで

事業所の特徴

利用人数 当月延べ利用者数/(当該月日数)*定員

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ほまれの里	90	81	90	104	81	90	92	91	89	94	78	90	

【事業所運営に関わって】

新規契約11件(うち下半期4件)。そのうち10名が利用。

利用理由については上半期と変わらず「家族の用事やレスパイト」や「家族と離れての生活を見越して」が大半です。何年も定期的に利用している利用者は安定して利用していますが、利用し始めて特に障害程度の軽い利用者は集団や予定等を理由に本人がキャンセルを希望することがあります。

家庭内で問題を抱えた利用者が徐々に増えてきており、家庭とのやり取りが困難なケースでは相談支援事業所と日程調整や書類のやり取り、また学校や家庭への特別送迎を行っています。

上半期の総括と繰り返しになりますが、利用に関して、障害の重い利用者や家庭に困難を抱える利用者は本人の思いよりも家族の思いが反映されやすいです。反対に家族にとって、特に重度の障害のある人を24時間365日見るということは大きな負担であることも事実です。障害当事者とその家族双方の気持ちに寄り添いながら今後も事業をすすめていきたいと考えています。

2019 (h31, r1) 年度事業報告

社会福祉法人ふたかみ福祉会
支援センターはる 2020/3/31

1 相談支援事業

名称	住所
支援センターはる	羽曳野市菅田七丁目808番地 1
指定事業名	事業有効期間
委託(羽曳野市)	2020(r2)/4/1-2021(r3)/3/31
指定特定相談支援	2018(h30)/4/1-2023(r5)/3/31
地域移行支援	2019(h31)/1/1-2024(r6)/12/31
地域定着支援	2019(h31)/1/1-2024(r6)/12/31

-1 職員配置

管理者(兼相談支援専門員)	1	羽曳野市相談支援事業委託
相談支援専門員	4	
ケアマネジメント推進員(障害分野)	1	市相談支援機能強化推進事業
聴覚ピアカウンセラー・手話通訳者	2	内手話通訳者1名(毎月曜日1.3木曜日)
肢体・視覚ピアカウンセラー	2	随時、電話予約対応

羽曳野市地域自立支援推進会議事務局

-2 主たる業務

(1) 羽曳野市委託相談支援

1) 個別相談

市町村	障害	実人数	身体障害					重症心身障害	知的	精神	発達	高次脳	難病その他
			肢体	聴覚	視覚	内部	その他						
羽曳野市	一般	152	8	15	3	0	1	1	95	33	4	1	7
	計画	923	76	27	28	0	41	36	724	113	16	4	36
その他市町村		6	0	0	0	0	0	0	6	1	0	1	0
合計		1081	84	42	31	0	42	37	825	147	20	6	43

支援方法・支援内容ごとの件数

支援方法	件数	件数
	一般相談に係る件数	サービス利用者契約者に係る件数
訪問	29	671
来所相談	4	54
同行	8	67
電話相談	178	1985
電子メール/FAX	11	35
個別支援会議	8	44
関係機関からの紹介	2	1
その他	13	19
合計	253	2876

※電話相談・電子メールは、問題状況が軽減されたり、解決の方向に向かった場合に計上する。日程の連絡など軽易なものは含まない。

支援内容	件数	(再掲)	件数	(再掲)
	一般相談に係る件数	ピアカウンセラー支援件数	サービス利用者契約者に係る件数	ピアカウンセラー支援件数
福祉サービスの利用等に関する支援	114	1	1837	27
障害や病状の理解に関する支援	4	2	89	17
健康・医療に関する支援	52	3	368	34
不安の解消・情緒安定に関する支援	19	14	45	26
保育・教育に関する支援	2	0	25	2
家族関係・人間関係に関する支援	24	8	91	16
家計・経済に関する支援	10	1	71	9
生活支援に関する支援	74	12	416	21
就労に関する支援	13	5	41	24
社会参加・余暇活動に関する支援	3	3	16	5
権利擁護に関する支援	2	0	3	0
その他	10	9	39	18
合計	327	58	3041	199

2)ピアカウンセリング

○聴覚障害相談(視覚・肢体ピアカウンセリングは予約相談)
月曜日 午前10時から午後4時
木曜日(第1 第3)午前10時から午後4時まで

3) ネットワークの形成

羽曳野市地域自立支援推進会議

○全体会(9/6・3月中止) 運営会議(4/5 6/14 7/26 10/11 2/7)

9/6 全体会

発達障害などの可能性がある児童の現状と進路への課題

～高等学校と自立訓練の場から～

3月 新型コロナウイルス感染防止のため中止

○部会・懇談会

「地域移行・定着支援部会

「共同生活援助事業所懇談会」(6/6 1/20)

「日中・就労支援部会」(4/17 10/9 2/5)

重症心身障害者事業所懇談会(7/11 12/11)

「事業所連絡会」全体会(6/25 9/27)

運営会議(5/17 9/27 1/17)

6/25 報酬改定を受けての具体的な対応について市より説明を受け、グループワークにて意見交換。

9/27 精神障がい者への対応の具体例

「相談支援部会」(8/9 11/15)

「放課後等ディサービス懇談会」

その他のネットワーク

南河内支援センター連絡会(偶数月に開催)

羽曳野市中エリア地域福祉専門職ネットワーク会議

4) ケース会議の開催

5) 広報活動・情報収集活動 はるニュース発行中止

6) 認定調査 108 件

(2) 指定特定相談支援事業(羽曳野市)

・サービス等利用計画作成 計画件数

モニタリング件数

167名 実人数

(3) 指定一般相談支援事業(大阪府指定)

・地域移行支援

・地域定着支援 3 名 実人数

2 南河内北障害者就業・生活事業（羽曳野市・松原市・藤井寺市）
2008年度より国の事業に

名称	住所
南河内北障害者就業・生活支援センター	羽曳野市白鳥3丁目16番1号

職員配置

管理者	1	雇用安定等事業
主任就業支援担当者	1	
就業支援担当者	2	生活支援等事業・体制強化事業
生活支援担当職員	2	

1. 就業・生活支援活動の実績

(1) 就業相談

4月～3月 登録者数 526名

新規登録者数 68 名

①（現状および障害別内訳）

就業状況	障害				合計
	身体	知的	精神	その他	
在職中	13	196	66	3	278
求職中	15	86	115	4	220
その他（訓練等必要な人）	5	8	15	0	28
合計	33	290	196	7	526

※障害のその他とは、障害者手帳を所持していない方

②障害者に対する相談・支援件数

身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
122	1376	885	11	2394

※相談・支援内容は、面接・電話・家庭訪問・ケア会議・職場実習支援・就労

※行政指導により、カウント方法が変更。

○ 羽曳野市障害者雇用相談 羽曳野市の委託事業 相談件数:13件

○ 藤井寺市障害者雇用相談 藤井寺市の委託事業 相談件数:5件

(2) 職業準備訓練から就職・職場定着にいたるまでの支援

①訓練のあっせん

○基礎訓練11名（併設施設および提携施設）

○職場実習19名（身体1名、知的13名、精神5名、その他0名）

②職業評価

2名（大阪障害者職業センター南大阪支所に実施依頼）

③就職支援

ハローワークと連携

トライアル雇用（3か月の試行雇用） 6件

就職者数29名（身体2名、知的19名、精神8名、その他0名）

主な就職先、物流、食品製造、製造業、清掃など

(3) 就職者に対する支援

- ① 定着支援 定着支援件数723件
(うち、職場訪問による支援297件)
- ② 余暇支援活動 (はるくらぶ)

(4) 事業所への支援

事業所支援 792件 事業所 120事業所

2. ネットワークの形成

○定例参加会議 (主なもの)

大阪障害者就業・生活支援センター連絡会
羽曳野市地域自立推進会議
松原市地域自立支援協議会
藤井寺市障害者地域自立支援協議会
南河内支援学校進路指導会議

- 第16回 南河内北 障害者就業・生活支援センター運営会議の開催
2018年5月15日 (火) 14:00~16:00

- 障害者の就労を支援する機関との連絡会 (ジョブネットトライアングル)

3. 生活面での支援について

- ケース会議の開催

- 当事者交流会

4. 障害者雇用に関わる啓発活動

- 障害者雇用フォーラムの開催 2018年10月24日 (水) 13:30~

5. その他

- 障がい者就労支援フェスタへの協力 2018年7月14日 (土) 13:00~16:00

'18(H30)年度第4四半期	日時2019/1/19 16時	袴田委員 佐野委員 石本 17:00～楠尾、関口コ、関口ナ
<p>○はびきの園 ・車両関係 担当者が定期点検。送迎中他害ケースの対応。安全面の配慮を。 免許の不携帯。免許の所持チェックやアルコールチェック。安全運転講習の実施 事故後の対応をわかりやすく 送迎時間厳守 戸締り確認表の作成を</p> <p>○耕房 gh:転倒3件 脱衣場、ふろ場 11, 12月続く ss:服薬ミス3件、チェック体制を。</p> <p>○ほまれっこ 送迎時に興奮が激しくおさまらない。添乗員をつけての対応。</p> <p>○ハピバール コンビニトイレで置き去りになりそう。 事務所鍵持ち帰り。 エアコン消し忘れ。チェック表を作りしっかりする。</p>		
19(h31)年度第1四半期	日時2019/7/19 16時	袴田委員 佐野委員 石本17:00 八木、楠尾、関口コ
<p>ヒヤリハットから事故報告に 事故とヒヤリの線引きの意識を。 重く受け止めての対応をしていく薬落ちていた事</p> <p>○はびきの園 裏の門扉の開閉。送迎時間帯は開放。不審者侵入の対応を</p> <p>○ハピバール 事故報告の内容が分かりにくい。</p> <p>○耕房 誤嚥への対応で肺炎がありうるので経過観察をしっかりと。</p> <p>○ほまれっこ 叱り方がきついと意見があり、家族へ説明に訪問。今後の支援の方向性を説明した。</p>		
19(r1)年度第2四半期	日時2019/10/28 16時	袴田委員 佐野委員 石本17:00 八木、関口ナ、楠尾、関口コ
<p>○はびきの園 ものを投げて壁に穴が開く。なぜ投げたのかの検証が必要 軽自動車後ろ扉がハット了。担当者を決めて車両の安全点検を行う。 作業室施錠忘れ点検表の徹底。未点検のままの納品 乗車前にトイレに行けず、車に乗車後、車両から落ちる。送迎前にトイレ掃除で利用できないことでイライラした。トイレ掃除の時 間変更をする</p> <p>○ハピバール 送迎管理表の徹底と把握。循環バスでの粗暴行為への対応。自力通所の責任の所在を明確にする。 工賃支払いミス。支給日が欠席時に未払い状態が続いた。 冷凍庫扉が開放のまま 西浦小で階段を踏み外し骨折、施設責任、通院対応。 駐車時にエアコン室外機に接触。ブロックを敷地に設置</p> <p>○ほまれっこ プールサイドで滑り転倒し、入水。指示なくプール入水した子がおり、すぐに対応した職員が入水し、携帯電話が水没</p> <p>○耕房 服薬ミス3件。本人からの申し出。ゴミ箱から出てくる。 服薬誤飲。1錠ずつ確認を。準備する人服薬見届ける人の2人体制のチェックを 朝にシャワーを浴びていた。浴室に鍵がかかっていたいなかった。</p>		
'19(r1)年度第3四半期	日時2020/1/27 16時	袴田委員 佐野委員 石本 17:00 楠尾、関口コ、関口ナ
<p>○はびきの園 鍵2件 ポケットに入れず 腕に付けように工夫。風呂湯、床暖消し忘れ。契約印しまい忘れ。管理者不在時は使用制限 行方不明:散歩時に利用者を車両に乗せずに出発。トイレ転倒、見守り必要 車の接触事故 利用者の安全優先を</p> <p>○ショート 車の接触事故 服薬ミス2件 棚や、箱などを購入して対応を考える 行方不明 利用者を優先して職員の業務時間見直し 利用者とかかわるときは、職員はたばこを所持しないようにする</p> <p>○ホーム 服薬ミス4件 再発防止具体的手立てを 送迎車に乗り遅れた場合の対応で、KPの判断でなく指示系統の確立を ガイドとの引継ぎで、利用者からの目を離し行方不明。食事のお替りができずイライラし、皿を割る。 車いすブレーキがからず転倒。 飲水時に笑ってむせた。</p> <p>○はびバール 戸締りチェック表はマーカーで強調し改善面 冷蔵庫内の期限切れのものを食べた。期限切れはすぐに処分 循環バス名で、利用者が女性利用者に対して不適切な行為に関して</p>		